

⑤⑥直轄特定漁港漁場整備事業（厚岸地区） 厚岸漁港衛生管理施設の整備

受賞機関 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路港湾事務所

キーワード 総合的な衛生管理対策、作業動線の整理、労働改善

全建賞審査委員会の評価ポイント

屋根付き岸壁や清浄海水導入施設整備を行う衛生管理対策。大規模なさんまの産地での抜本的な衛生管理対策が図れる事業で、波及効果や影響範囲の大きな点が評価された。

1. はじめに

厚岸漁港は北海道東南部に位置し、沖合漁業を中心に多種多様な漁業が営まれ、特にサンマ漁においては、流通拠点として大きな役割を担っている。

総合的な衛生管理対策の推進を図るため、厚岸漁業協同組合による衛生管理型荷捌所の整備と連携し、屋根付き岸壁や清浄海水導入施設の整備を行い、令和2年8月より供用を開始した。

2. 事業の概要

当漁港で水産物の陸揚げ作業が行われていた湖北地区の岸壁および背後施設は老朽化が進んでいるほか、衛生面や狭隘化が課題となっていた。



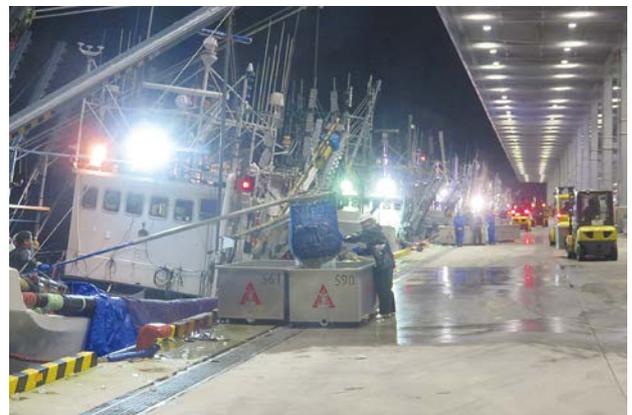
衛生管理施設（全景）

事業実施にあたっては、陸揚げから出荷までを効率的に行うスペースを確保するため、広く用地を確保できる湖南地区第2埠頭に機能を移転させるとともに、人工地盤の整備により駐車場を確保し、狭隘化を解消した。

また、岸壁に延長403m、幅35mの屋根施設を整備し、陸揚げから出荷まで、降雨、鳥糞、直射日光の影響を受けずに漁獲物を管理できるようになったほか、鮮度管理を目的とした清浄海水導入施設の整備等により、総合的な衛生管理対策の推進を図った。

3. 事業の成果

令和2年10月から11月には1日100tを超えるサンマの水揚げがあり、旧施設では混雑する状況であったが、湖南地区に移転した新たな衛生管理施設では、それぞれの作業動線が整理され、作業が輻輳せずに陸揚げから搬出までを効率的に行うことができたことから、作業密度の低減による事故発生確率は約5分の1、作業時間は30分ほど短縮されることとなった。



施設利用状況（サンマ陸揚）

また、厚岸漁業協同組合により整備された荷さばき所では、デジタルサイネージにより最新の市況価格などの情報がセリ人らに提供され、電子セリや電子入札と相まって出荷までの時間が短縮されたことで、盛漁期には夜中から開始しなければ終わらなかったセリが通常時と同じ朝7時頃からも間に合うようになり、関係者の労働改善に寄与している。

4. おわりに

既設岸壁構造を活用するなどの構造的な制約や短期間に多数の工事が輻輳する時間的、物理的制約が多い中、本整備の計画、調査設計、施工に携わられた多数の担当者の皆様、各種調整に協力いただいた地元関係者の皆様に謝意を表します。

賛助会員 東洋建設(株)、(株)アルファ水工コンサルタンツ、(株)クマシロシステム設計、日本工営(株)